

平成 30 年度
日本商工会議所

第150回

簿記検定試験

3 級

【解答・解説】

この解答例は、当社で作成したものです。
解答中に記載してある配点は、当社で考えた予想配点です。

LEC東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド
(C) 2018 TOKYO LEGAL MIND K.K., Printed in Japan
無断複製・無断転載等を禁じます。
有効期限 2018年11月18日/2019年2月23日



BL18264

第150回 解 答

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	土 地	41,750,000	未 払 金 普 通 預 金	41,250,000 500,000
2	損 益	2,800,000	仕 入	2,800,000
3	現 金 過 不 足 旅 費 交 通 費	10,000 7,000	受 取 手 数 料 雑 益	15,000 2,000
4	建 物 修 繕 費	16,000,000 4,000,000	普 通 預 金	20,000,000
5	租 税 公 課	8,000	現 金	8,000

仕訳1組につき各4点 合計20点

第2問 (10点)

問1

帳簿 日付	現金出納帳	当座預金 出 納 帳	商品有高帳	売掛金元帳 (得意先元帳)	買掛金元帳 (仕入先元帳)	仕 入 帳	売 上 帳
7日	○		○		○	○	
12日			○	○			○
15日		○		○			

問2	問3
¥ 136,000	¥ 165,000

問1 各日付につき2点、問2 2点、問3 2点 合計10点

第 3 問 (30 点)

残 高 試 算 表

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
10 月末残高	月初残高		月初残高	10 月末残高
★ 650,000	437,000	現 金		
★ 948,000	2,391,000	普 通 預 金		
1,462,000	1,296,000	売 掛 金		
		貸 倒 引 当 金	2,000	
450,000	450,000	繰 越 商 品		
210,000	220,000	前 払 金		
	20,000	仮 払 金		
2,220,000	1,800,000	備 品		
		備品減価償却累計額	570,000	570,000
		買 掛 金	1,003,000	★ 873,000
		借 入 金	900,000	★ 500,000
		未 払 金	660,000	★ 590,000
		所 得 税 預 り 金	21,000	23,000
		資 本 金	3,242,000	3,242,000
		売 上	14,480,000	★ 16,150,000
★ 10,118,000	9,038,000	仕 入		
★ 4,244,000	3,794,000	給 料		
★ 354,000	337,000	旅 費 交 通 費		
72,000		(貸 倒 損 失)		
110,000	91,000	通 信 費		
170,000	156,000	水 道 光 熱 費		
900,000	810,000	支 払 家 賃		
40,000	38,000	支 払 利 息		
21,948,000	20,878,000		20,878,000	21,948,000

★につき 3 点、 につき 3 点 合計 30 点

第 4 問 (10 点)

①	②	③	④	⑤
仕 入	400,000	出 金	売 掛 金	550,000

各 2 点 合計 10 点

第 150 回 解 答

第 5 問 (30 点)

精 算 表

勘 定 科 目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	280,000						280,000	
小 口 現 金	35,000			7,500			27,500	
普 通 預 金	320,000						320,000	
受 取 手 形	420,000						420,000	
売 掛 金	300,000						300,000	
繰 越 商 品	480,000		330,000	480,000			330,000	
建 物	800,000						800,000	
備 品	750,000						750,000	
土 地	2,400,000			1,200,000			1,200,000	
買 掛 金		510,000	70,000					440,000
手 形 借 入 金		1,000,000						1,000,000
仮 受 金		1,300,000	1,300,000					
貸 倒 引 当 金		10,000		4,400				14,400
建物減価償却累計額		390,000		30,000				420,000
備品減価償却累計額		280,000		150,000				430,000
資 本 金		1,310,000						1,310,000
売 上		6,500,000				6,500,000		
仕 入	4,230,000		480,000	70,000	4,310,000			
				330,000				
給 料	600,000		45,000		645,000			
旅 費 交 通 費	80,000		4,500		84,500			
支 払 家 賃	180,000				180,000			
保 険 料	300,000			75,000	225,000			
消 耗 品 費	80,000		3,000		83,000			
支 払 利 息	45,000			37,500	7,500			
	11,300,000	11,300,000						
固定資産売却(益)				100,000		100,000		
貸倒引当金繰入			4,400		4,400			
減 価 償 却 費			180,000		180,000			
未 収 入 金			75,000				75,000	
(未払) 給料				45,000				45,000
(前払) 利息			37,500				37,500	
当期純(利益)					880,600			880,600
			2,529,400	2,529,400	6,600,000	6,600,000	4,540,000	4,540,000

□ につき 3 点 合計 30 点

【3級総評】

全体としては基本から標準レベルの問題でした。過去に出題されている論点も多く、合格答練などでしっかりと準備していれば、合格点を取ることは十分に可能な難易度でした。

【解説】**第1問**

仕訳に関する問題です。勘定科目は指定された中から最適なものを選んで、正確に記入する必要があります。

1. 固定資産の購入

土地の購入に際して、仲介業者に購入手数料を支払っています。土地の購入に伴う付随費用は、土地の取得原価に算入するので土地の増加として処理します。

2. 損益振替

仕入勘定の決算整理後残高は売上原価を意味します。収益と費用の勘定の決算整理後残高は損益振替仕訳により損益勘定に振替えられます。具体的には、仕入勘定の残高がゼロとなるように仕訳し、相手勘定科目は損益とします。

3. 現金過不足の決算整理

問題文より、期中に、現金の実際有高に対して帳簿残高が不足していた分を現金過不足で処理しています。決算にあたり、現金過不足を全額取消し、判明した事実である旅費交通費の支払いと受取手数料の受取りを仕訳します。貸借差額が貸方に生じるので雑益で処理します。

4. 資本的支出

建物の修繕により建物の価値が増加した場合、その価値増加に関する支出を資本的支出といい、建物を新たに取得したと考えて処理します。そのため、建物について資本的支出があったときは、建物で処理します。また、収益的支出は修繕費で処理します。

5. 収入印紙に関する処理

収入印紙は、印紙税という税金の納付のために購入するものです。収入印紙を購入したときは、租税公課として費用処理します。

第150回 解説

第2問

各取引について、記入される補助簿を答える問題を中心として、商品売買取引の理解を問う問題です。

問1

取引ごとに記入される補助簿を選択する問題です。取引の仕訳を考え、仕訳で使用する勘定科目に対応する補助簿がどれかを考えて解答します。なお、商品売買取引は、商品有高帳へも記入します。

7日	(借)	仕入	242,500	(貸)	買掛金	240,000
					現金	2,500

12日	(借)	売掛金(東京)	78,000	(貸)	売上	78,000
-----	-----	---------	--------	-----	----	--------

15日	(借)	当座預金	50,000	(貸)	売掛金(箱根)	50,000
-----	-----	------	--------	-----	---------	--------

19日	(借)	売掛金(箱根)	63,000	(貸)	売上	63,000
-----	-----	---------	--------	-----	----	--------

22日	(借)	売上	5,000	(貸)	売掛金(箱根)	5,000
-----	-----	----	-------	-----	---------	-------

29日	(借)	当座預金	49,000	(貸)	売掛金(東京)	49,000
-----	-----	------	--------	-----	---------	--------

問2

純売上高を求める問題です。純売上高は、総売上高から売上返品を控除した金額のことをいいます。

総売上高： $¥78,000 + ¥63,000 = ¥141,000$

売上返品： $¥5,000$

純売上高： $¥141,000 - ¥5,000 = ¥136,000$

問3

得意先に対する売掛金残高を求める問題です。具体的には、箱根商店に対する6月1日における売掛金残高を算定した上で、売掛金の増減を把握して、6月30日現在の残高を求めます。

- (1) 6月1日における箱根商店に対する売掛金残高

総勘定元帳における売掛金勘定の残高： $¥387,000$

東京商店の売掛金： $¥230,000$

箱根商店の売掛金： $¥387,000 - ¥230,000 = ¥157,000$

- (2) 6月30日における箱根商店に対する売掛金残高

上記で求めた6月1日における売掛金残高に、6月15日、19日、22日の箱根商店に対する売掛金の増減を加減算して求めます。

$¥157,000 - ¥50,000 + ¥63,000 - ¥5,000 = ¥165,000$

第 3 問

残高試算表の作成に関する問題です。

解答手順としては、まず平成×1年10月中の取引に関する仕訳を行います。次に、答案用紙に与えられている平成×1年10月の月初残高と仕訳にもとづいて勘定科目ごとに10月の月末残高を集計します。

なお、重複して取引が記載されているため、二重に集計しないよう注意が必要です。

※グレーの仕訳は、他の仕訳と重複しているため、集計しません。

【平成×1年10月中の取引】

(1) 現金に関する事項

a.	(借)	現	金	300,000	(貸)	売	上	300,000				
b.	(借)	現	金	200,000	(貸)	普	通	預	金	200,000		
c.	(借)	旅	費	交	通	費	17,000	(貸)	仮	払	金	20,000
		現	金	3,000								
d.	(借)	買	掛	金	110,000	(貸)	現	金	110,000			
e.	(借)	前	払	金	180,000	(貸)	現	金	180,000			

(2) 普通預金に関する事項

a.	(借)	普	通	預	金	1,130,000	(貸)	売	掛	金	1,130,000			
b.	(借)	現	金	200,000	(貸)	普	通	預	金	200,000				
c.	(借)	通	信	費	19,000	(貸)	普	通	預	金	123,000			
		水	道	光	熱	費	14,000							
		支	払	家	賃	90,000								
d.	(借)	買	掛	金	910,000	(貸)	普	通	預	金	910,000			
e.	(借)	給	料	450,000	(貸)	普	通	預	金	427,000				
								所	得	税	預	り	金	23,000
f.	(借)	借	入	金	400,000	(貸)	普	通	預	金	402,000			
		支	払	利	息	2,000								
g.	(借)	所	得	税	預	り	金	21,000	(貸)	普	通	預	金	21,000
h.	(借)	未	払	金	490,000	(貸)	普	通	預	金	490,000			

(3) 売上に関する事項

a.	(借)	現	金	300,000	(貸)	売	上	300,000	
b.	(借)	売	掛	金	1,380,000	(貸)	売	上	1,380,000
c.	(借)	売	上	10,000	(貸)	売	掛	金	10,000

第150回 解説

(4) 仕入に関する事項

a.	(借)	仕	入	110,000	(貸)	現	金	110,000
b.	(借)	仕	入	780,000	(貸)	買	掛	金 780,000
c.	(借)	仕	入	190,000	(貸)	前	払	金 190,000

(5) その他の事項

a.	(借)	貸	倒	引	当	金	2,000	(貸)	売	掛	金	74,000
						貸	倒	損	失			72,000
b.	(借)	備			品		420,000	(貸)	未	払	金	420,000

第4問

伝票会計の問題です。取引の仕訳を考え、問題資料の伝票において記入済みとなっている箇所を手がかりにして、記入する語句および金額を考えます。

(1) 仕入

取引を仕訳すると次のようになります。

(借)	仕	入	400,000	(貸)	現	金	100,000
					買	掛	金 300,000

出金伝票となる伝票の科目欄に「買掛金」と記入済みのため、取引を擬制する方法で起票します。

振替伝票：	(借)	仕	入	400,000	(貸)	買	掛	金	400,000
出金伝票：	(借)	買	掛	金	100,000	(貸)	現	金	100,000

(2) 売上

取引を仕訳すると次のようになります。

(借)	売	掛	金	554,000	(貸)	売	上	550,000
						現	金	4,000

伝票に記入済みの箇所はありませんが、取引を分解する方法でのみ起票可能です。

出金伝票：	(借)	売	掛	金	4,000	(貸)	現	金	4,000
振替伝票：	(借)	売	掛	金	550,000	(貸)	売	上	550,000

第 5 問

精算表作成に関する問題です。決算整理事項等にもとづいて未処理事項及び決算整理事項の仕訳を行い、精算表の修正記入欄に記入します。次に残高試算表欄の金額に修正記入欄の金額を加減算し、収益・費用に属するものは損益計算書欄に、資産・負債・純資産に属するものは貸借対照表欄に記入します。

決算整理事項等の処理は次のとおりです。

1. 仕入返品

仕入返品は、仕入取引自体の取消しなので、仕入および買掛金を減少させます。

(借) 買 掛 金	70,000	(貸) 仕 入	70,000
-----------	--------	---------	--------

2. 小口現金

文房具は消耗品費として、電車賃は旅費交通費として処理します。

(借) 消 耗 品 費	3,000	(貸) 小 口 現 金	7,500
旅 費 交 通 費	4,500		

3. 固定資産の売却・仮受金の精算

〈売却代金受取時の仕訳〉

(借) 現 金	1,300,000	(貸) 仮 受 金	1,300,000
---------	-----------	-----------	-----------

〈仮受金精算の仕訳〉

(借) 仮 受 金	1,300,000	(貸) 土 地	1,200,000
		固 定 資 産 売 却 益	100,000

4. 未収入金

12月1日以降の保険料が月割で返金されるため、返金額を未収入金として計上します。

(借) 未 収 入 金	75,000	(貸) 保 険 料	75,000
-------------	--------	-----------	--------

$$\text{未収入金} : \text{¥}180,000 \times \frac{5\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}} = \text{¥}75,000$$

※ 12月1日～4月30日の5ヶ月分

5. 貸倒引当金の設定

受取手形および売掛金の期末残高合計に対して、貸倒見積額を計算します。

(借) 貸 倒 引 当 金 繰 入	4,400	(貸) 貸 倒 引 当 金	4,400
-------------------	-------	---------------	-------

$$\text{貸倒見積額} : (\text{¥}420,000 + \text{¥}300,000) \times 2\% = \text{¥}14,400$$

$$\text{貸倒引当金繰入} : \text{¥}14,400 - \text{¥}10,000 = \text{¥}4,400$$

6. 売上原価の算定

まず、期首商品棚卸高を繰越商品勘定から仕入勘定に振替えます。次に、期末商品棚卸高を仕入勘定から繰越商品勘定に振替えます。これにより、仕入勘定の決算整理後残高は売上原価となります。

(借) 仕 入	480,000	(貸) 繰 越 商 品	480,000
(借) 繰 越 商 品	330,000	(貸) 仕 入	330,000

第 150 回 解 説

7. 減価償却

定額法による 1 年分の減価償却費は「(取得原価－残存価額) ÷ 耐用年数」で計算します。

(借) 減 価 償 却 費	180,000	(貸) 建物減価償却累計額	30,000
(借)		(貸) 備品減価償却累計額	150,000

建物：(¥800,000－¥80,000) ÷ 24 年 = ¥30,000

備品：(¥750,000－¥0) ÷ 5 年 = ¥150,000

8. 給料の見越し

当期末に未払いとなっている給料について、見越し計上します。

(借) 給 料	45,000	(貸) 未 払 給 料	45,000
---------	--------	-------------	--------

9. 支払利息の繰延べ

当期に支払った借入金の支払利息のうち、翌期分 (10 ヶ月) を繰延べます。

(借) 前 払 利 息	37,500	(貸) 支 払 利 息	37,500
-------------	--------	-------------	--------

前払利息：¥1,000,000 × 4.5% × $\frac{10\text{ヶ月}}{12\text{ヶ月}}$ = ¥37,500

※ 翌期 1 月 1 日～10 月 31 日の 10 ヶ月分